環境事業データ集

令和6年度実績



足立区生活環境保全課 令和7年9月発行

目 次

【大気】	ページ
資料 1	大気汚染環境基準
資料 2	足立区内の大気汚染測定局の測定結果2
資料 3	環状七号線大気汚染調査結果6
資料 4	放射11号線(尾久橋通り)大気汚染調査結果9
資料 5	首都高速中央環状線大気汚染調査結果1 0
資料 6	補119号線(墨堤通り)大気汚染調査結果11
資料 7	補140号線(全線開通前)大気汚染調査結果12
資料 8	放射線調査結果12
資料 9	ダイオキシン類調査結果13
資料10	大気環境中のアスベスト濃度調査結果
資料11	光化学スモッグの緊急時発令基準及び措置14
資料12	光化学スモッグ注意報・学校情報の発令日数及び被害届出等の状況14
【河川】	
資料13	水質汚濁に係る環境基準15
資料14	河川定期水質調査結果16
資料15	河川生物調査結果19
資料16	垳川水質調査結果······20
資料17	隅田川水系浄化対策連絡協議会調査結果2 1
【騒音・	辰動】
資料18	騒音・振動に関する基準22
資料19	主要幹線道路騒音調査(リンク調査)結果25
資料20	自動車騒音常時監視調査結果2 6
【工場事	業場等の公害規制】
資料21	認可届出等事務処理状況······28
資料22	認可工場······30
資料23	指定作業場33
資料24	公害相談3.4

資料作成担当資料 1 ~ 1 4 、 1 6 ~ 2 4生活環境保全課資料 1 5環境政策課

資料1 大気汚染環境基準

物質	環境上の条件
二酸化硫黄	1 時間値の1日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.10ppm 以下であること。
浮遊粒子状物質	1 時間値の1日平均値が 0.10mg/m³以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m³以下であること。
微小粒子状物質 (PM2.5)	年平均値が 15 μg/m³以下であり、かつ、1 日平均値が 35 μg/m³以下であること。
二酸化窒素	1 時間値の1日平均値が 0.04~0.06ppm のゾーン内又はそれ以下であること。
光化学オキシダント	1 時間値が 0.06ppm 以下であること。

○環境基準の評価方法

評価方法には、短期的評価と長期的評価があります。二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、一酸化炭素は、短・長期的評価、オキシダントは、短期的評価をします。

• 短期的評価

測定を行った日についての1日平均値、8時間値、又は各1時間値を環境基準と比較し評価を行います。

• 長期的評価

(ア) 二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、一酸化炭素

年間の1日平均値のうち、高いほうから2%の範囲内にあるもの(365日分の測定値がある場合は7日分の測定値)を除外したもの(2%除外値)を、環境基準値と比較し評価します。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、非達成とします。

(イ) 二酸化窒素

年間の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの(98%値)を環境基準と比較し、評価をします。

環境基準は車道については適用されませんが、本書では参考として比較評価を行っています (東京都国道4号梅島測定局)。

(ウ) 微小粒子状物質 (PM2.5)

長期基準及び短期基準に関する評価を各々行い、両方を満足した場合に達成と評価します。

長期基準:1年平均値を環境基準と比較して評価します。

短期基準:年間の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの(98%値)を環境基準と比較して評価します。

※黄砂時等の特異的現象に関する評価への考慮

長期基準による評価が非達成のとき、非黄砂期間中の測定結果の平均値が長期基準を達成している場合にあっては、黄砂の影響で非達成と注釈を付して評価します。

同様に短期基準による評価が非達成のとき、非黄砂期間中の測定結果の年間98%値が短期基準を達成している場合にあって は、黄砂の影響で非達成と注釈を付して評価します。

資料 2 足立区内の大気汚染測定局の測定結果

資 2-1	東京都西新井測定局	(単位は ppm	ただし浮遊粒子状物質は mg/m³、微小粒子はμg	$/ m^3$)
		(平1), (a ppill	- /こ/こ し(子が水) 」 4人 4分 員 (よ 1118/ 1111 、 17以/ 1 木) 」 (よ ル と	/ 11

項目 月	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	年平均値
二酸化硫黄	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
浮遊粒子状物質	0.018	0.011	0.012	0. 020	0.014	0. 013	0.012	0.011	0.010	0.010	0.009	0.014	0. 013
一酸化窒素	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.004	0.008	0.007	0.002	0.001	0.002
二酸化窒素	0.012	0.010	0.011	0.011	0.008	0.008	0.011	0.016	0.020	0.019	0.013	0. 013	0.013
窒素酸化物	0.013	0.011	0.012	0.012	0.009	0.009	0.013	0.020	0.028	0.026	0.015	0.014	0.015
オキシダント	0. 048	0. 049	0. 049	0.052	0.036	0. 035	0.031	0. 027	0. 025	0. 027	0.037	0. 043	0. 038
微小粒子(PM2.5)	12. 2	8.5	8.6	13.6	8.8	7. 7	8. 1	9. 2	9. 6	10.6	8. 5	12. 5	9. 9

資 2-2 東京都綾瀬測定局 (単位は ppm ただし浮遊粒子状物質は mg/m³、微小粒子は μ g/m³)

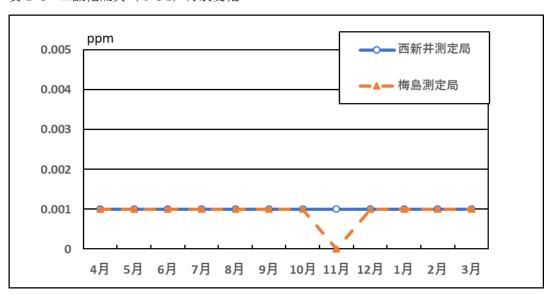
× 1 1 /k///	HP/IX N	XIVIVE.	/ · · · · ·		(1-12	10x bbm	/ _ / _ (O 11 704/1-	7 1 .N C 1/2	- y=Q 1 O× III ≥	5/ III \ //	W-1 J== 1	1 α μ 8/ 111/
項目 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均値
浮遊粒子状物質	0.020	0.013	0.013	0.021	0.016	0.014	0.013	0.012	0.009	0.010	0.010	0.015	0.014
一酸化窒素	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.004	0.006	0.005	0.003	0.002	0.002
二酸化窒素	0.012	0.011	0.011	0.011	0.008	0.009	0.012	0.016	0.020	0.019	0.014	0.014	0.013
窒素酸化物	0.012	0.012	0.011	0.012	0.009	0.010	0.015	0.020	0.026	0.024	0.017	0.016	0.015
微小粒子(PM2.5)	12. 5	8.3	8. 3	12. 9	8. 5	7.6	7. 8	8.8	8.3	9. 9	9. 2	13. 7	9. 7

資 2-3 東京都国道 4 号梅島測定局 ()	け nnm ただし浮游粒子状物質け mg/m³ 微小粒子け u g/m³	3)
-------------------------	--------------------------------------	----

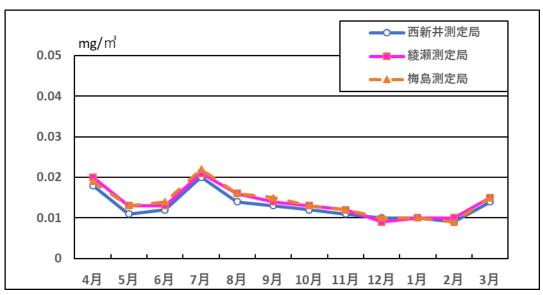
項目 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均値
二酸化硫黄	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
浮遊粒子状物質	0.019	0.013	0.014	0.022	0.016	0.015	0.013	0.012	0.010	0.010	0.009	0.015	0.014
一酸化窒素	0.008	0.008	0.009	0.007	0.009	0.007	0.006	0.009	0.014	0.014	0.007	0.007	0.009
二酸化窒素	0.019	0.018	0.020	0.018	0.013	0.014	0.015	0.019	0.024	0.021	0.017	0.018	0.018
窒素酸化物	0.027	0.026	0.029	0.025	0.022	0.021	0.021	0. 028	0.038	0. 036	0.024	0. 025	0.027
微小粒子(PM2.5)	12. 5	8. 5	9.2	13.0	9.0	7.8	8.4	10.0	8.9	9.6	7.8	11. 9	9. 7

[※] 年平均値とは、1時間値の総和を測定時間数で割った値です。

資 2-4 二酸化硫黄 (SO2) 月別変化

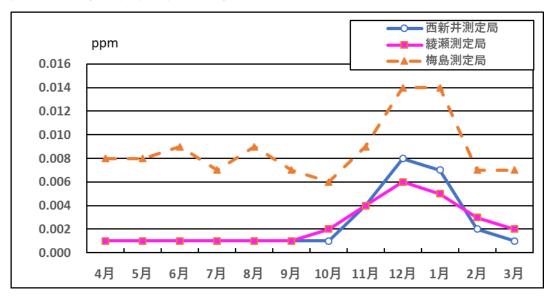


資 2-5 浮遊粒子状物質 (SPM) 月別変化

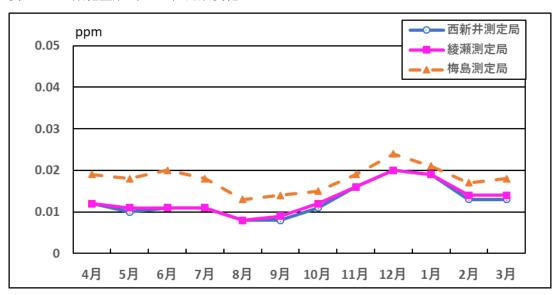


[※] オキシダントの測定値は、5~20時までの昼間の時間帯に測定した値の平均です。

資 2-6 一酸化窒素 (NO) 月別変化



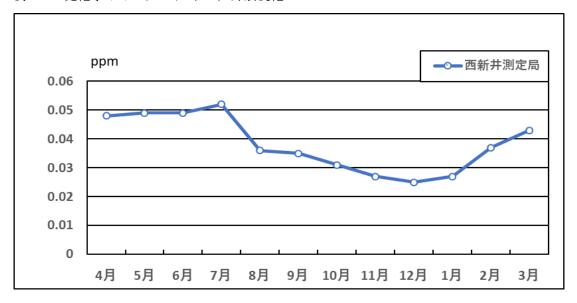
資 2-7 二酸化窒素 (NO2) 月別変化



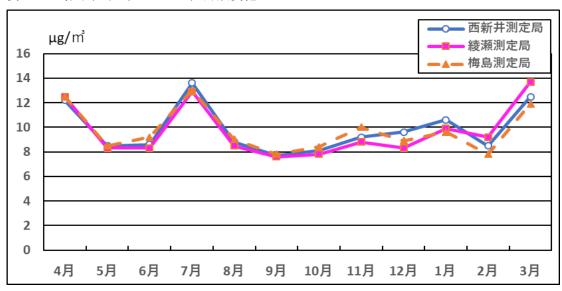
資 2-8 室素酸化物 (NOx) 月別変化



資 2-9 光化学オキシダント (Ox) 月別変化



資 2-10 微小粒子 (PM2.5) 月別変化



資 2-11 二酸化硫黄(SO2)年間測定結果

				1 時間値	日平均値	日平均値	環境基準0	の達成状況
測定局	有効測定	測定時間	年平均値	が 0.1ppm	が 0.04ppm	の 2%	(達 万	坟 ○)
	日 数			を超えた	を超えた	除外值	(非達原	戈 ×)
				時間数	日数			
	(目)	(時間)	(ppm)	(時間)	(目)	(ppm)	短期的評価	長期的評価
西新井	360	8566	0.001	0	0	0.002	0	0
梅島	361	8567	0.001	0	0	0.002	0	0

資 2-12 浮遊粒子状物質(SPM)年間測定結果

				1 時間値	日平均値	日平均値	環境基準0	つ達成状況
測定局	有効測定	測定時間	年平均値	が 0.2mg/	が 0.1mg/	の 2%	(達 万	♥ ○)
	日 数			m³を超え	m³を超え	除外值	(非達原	ţ ×)
				た時間数	た日数			
	(目)	(時間)	(mg/m^3)	(時間)	(目)	(ppm)	短期的評価	長期的評価
西新井	359	8606	0.013	0	0	0.034	0	\circ
綾瀬	359	8601	0.014	0	0	0.034	0	0
梅島	358	8589	0.014	0	0	0.035	0	0

資 2-13 二酸化窒素 (NO2)年間測定結果

				日平均値が	日平均値が	日平均値の	環境基準の
測定局	有効測定	測定時間	年平均値	0.06ppm を	$0.04 \sim 0.06 \text{ppm}$	98%	達成状況
	日 数			超えた日数	の日数		(達成○
							非達成×)
	(目)	(時間)	(ppm)	(目)	(目)	(ppm)	長期的評価
西新井	361	8553	0.013	0	1	0.031	\circ
綾瀬	361	8549	0.013	0	1	0.030	\circ
梅島	361	8545	0.018	0	5	0.036	Ô

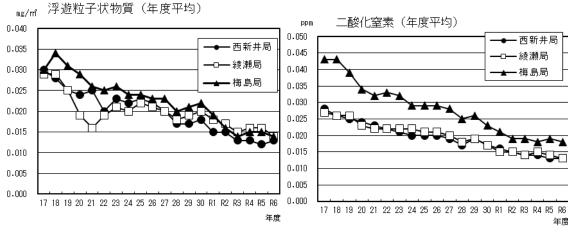
資 2-14 微小粒子状物質 (PM2.5) 年間測定結果

測定局	有効測定	測定時間	年平均値	日平均値が35 μg/㎡を超え	日平均値の 98%	環境基準の	
	日 数			た日数		(非達原	ţ ×)
	(目)	(時間)	$(\mu \text{ g/m}^3)$	(日)	$(\mu \text{ g/m}^3)$	短期的評価	長期的評価
西新井	359	8630	9.9	0	24. 3	0	0
綾瀬	362	8677	9. 7	0	24. 2	0	0
梅島	358	8619	9. 7	0	22. 4	0	0

[※] 東京都環境局の速報値です。

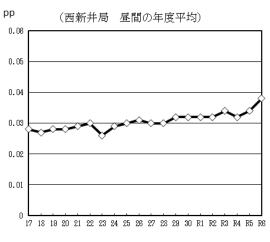
資 2-15 浮遊粒子状物質経年変化

資 2-16 二酸化窒素経年変化



資 2-17 光化学オキシダント (Ox) 年間測定結果 資 2-18 光化学オキシダント (Ox) 経年変化

測定局	西新井
昼間の有効測定日数(日)	361
昼間の測定時間(時間)	5379
昼間の年平均値(ppm)	0.038
昼間の1時間値が0.06ppmを超えた 日数と時間数	103(日) 561(時間)
昼間の1時間値が0.12ppm以上の 時間数と日数	6(日) 17(時間)
環境基準の達成状況(短期的評価) (達成○、非達成×)	×



年度

資料3 環状七号線大気汚染調査結果

資 3-1 新田二丁目:各物質の調査結果

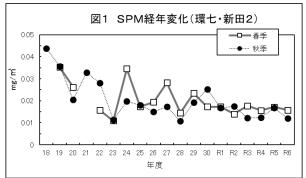
環境基準の達成評価は、短期的評価です。

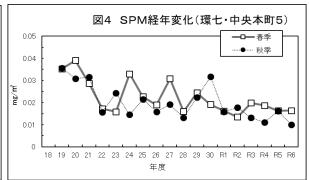
				浮遊粒子			二酸化窒素	一酸化窒素
				(mg/	m^3		(ppm)	(ppm)
	日付	曜日	日平均	環境基準	1時間値	環境基準	日平均	日平均
				○達成、×非達成	の最大	○達成、×非達		
						成		
第	6/14	金	0. 018	0	0.030	0	0.021	0.014
1	6/15	土	0.013	0	0.018	0	0.014	0.008
口	6/16	日	0.011	0	0.019	0	0.012	0.005
春	6/17	月	0.022	0	0.033	0	0.026	0.013
季	6/18	火	0. 014	0	0.025	0	0.031	0.016
	6/19	水	0.017	0	0.022	0	0.020	0. 015
	6/20	木	0.016	0	0.023	0	0.018	0.010
	平均	J	0.016	0			0.020	0. 012
第	11/21	木	0.010	0	0.022	0	0.024	0.036
2	11/22	金	0.019	0	0.031	0	0.030	0.050
口	11/23	土	0.004	0	0.009	0	0.009	0. 011
秋	11/24	日	0.007	0	0.014	0	0.011	0.009
季	11/25	月	0.011	0	0.037	0	0.022	0.030
	11/26	火	0. 018	0	0.033	0	0.028	0.043
	11/27	水	0. 015	0	0.019	0	0.025	0.029
	平均	J	0.012	0			0.021	0.030

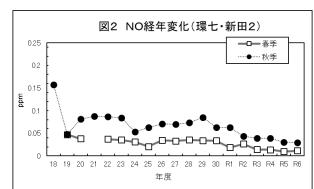
資 3-2 中央本町五丁目:各物質の調査結果

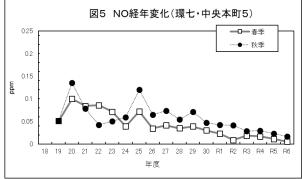
環境基準の達成評価は、短期的評価です。

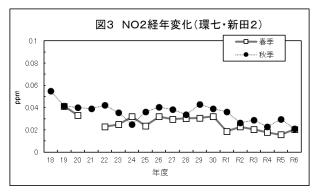
			1 1 11 17	浮遊粒-	子状物質 g/m³)		二酸化窒素	一酸化窒素
	n 44	n33 m	ㅁ귟쓔			四点甘淮	(ppm)	(ppm)
	日付	曜日	日平均	環境基準	1時間値	環境基準	日平均	日平均
				○達成、×非達成	の最大	○達成、×非達成		
第	6/14	金	0.020	0	0.031	0	0.022	0.006
1	6/15	土	0.015	0	0.022	0	0.013	0.004
口	6/16	日	0.011	0	0.018	0	0.010	0.002
春	6/17	月	0.022	0	0.028	0	0.022	0.007
季	6/18	火	0.013	0	0.027	0	0.022	0.006
	6/19	水	0.017	0	0.024	0	0.018	0.006
	6/20	木	0.017	0	0.024	0	0.022	0.006
	平均	Ī	0.016	0			0.019	0.005
第	12/4	水	0.018	0	0.031	0	0.027	0.017
2	12/5	木	0.012	0	0.022	0	0.025	0.015
口	12/6	金	0.008	0	0.016	0	0.023	0.025
秋	12/7	土	0.008	0	0.015	0	0.019	0.010
季	12/8	日	0.005	0	0.010	0	0.008	0.002
	12/9	月	0.006	0	0.011	0	0.018	0.020
	12/10	火	0.012	0	0.025	0	0.030	0.028
	平均		0.010	0			0.021	0. 017

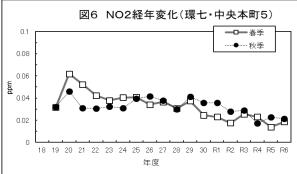








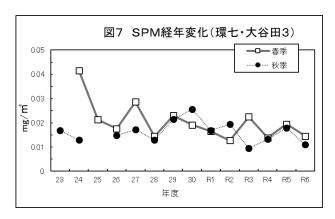


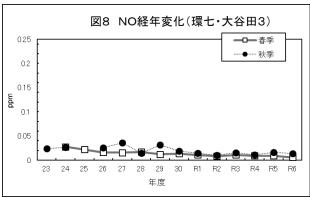


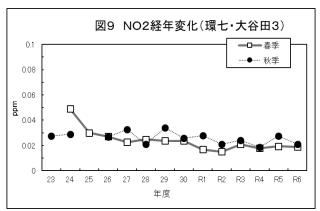
資 3-3 大谷田三丁目:各物質の調査結果

				浮遊粒子 (mg/			二酸化窒素 (ppm)	一酸化窒素 (ppm)
	日付	曜日	日平均	環境基準	1 時間値	環境基準	日平均	日平均
				○達成、×非達成	の最大	○達成、×非達		
						成		
第	6/14	金	0.018	0	0.031	0	0.029	0.012
1	6/15	土	0.012	0	0.017	0	0.013	0.006
口	6/16	日	0.010	0	0.015	0	0.010	0.002
春	6/17	月	0.019	0	0.027	0	0.020	0.005
季	6/18	火	0.011	0	0.024	0	0.015	0.001
	6/19	水	0.014	0	0.022	0	0.020	0.005
	6/20	木	0.016	0	0.020	0	0.026	0. 010
	平均	Ī	0.014	0			0.019	0.006
第	11/21	木	0.009	0	0.020	0	0.023	0.017
2	11/22	金	0.016	0	0.027	0	0.032	0.040
口	11/23	土	0.004	0	0.008	0	0.006	0.001
秋	11/24	日	0.008	0	0.024	0	0.012	0.003
季	11/25	月	0.010	0	0.029	0	0.022	0.012
	11/26	火	0.018	0	0.029	0	0.026	0. 011
	11/27	水	0.013	0	0.018	0	0.022	0. 013
	平均		0.011	0			0.021	0. 014

資 3-4 環状七号線の経年変化







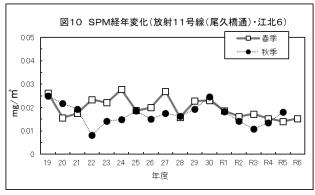
資料4 放射11号線(尾久橋通り)大気汚染調査結果

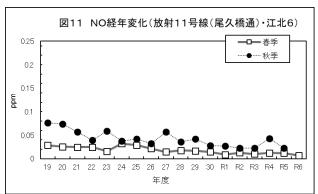
資 4-1 江北六丁目:各物質の調査結果

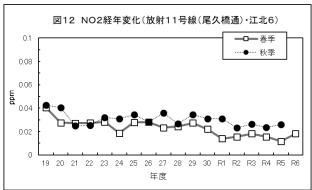
環境基準の達成評価は、短期的評価です。

		, , ,, ,	I MAY MAT	浮遊粒子	小比肠唇	yk yaar 1	二酸化窒素	一酸化窒素
							, ,	
				(mg/	m°)		(ppm)	(ppm)
	日付	曜日	日平均	環境基準	1 時間値	環境基準	日平均	日平均
				○達成、×非達成	の最大	○達成、×非達		
						成		
第	6/14	金	0.019	0	0.035	0	0.020	0.007
1	6/15	土	0.012	0	0.021	0	0.012	0.005
口	6/16	日	0.011	0	0.017	0	0.009	0.002
春	6/17	月	0.020	0	0.027	0	0.022	0.009
季	6/18	火	0.013	0	0.024	0	0.024	0.010
	6/19	水	0.016	0	0.022	0	0.019	0.009
	6/20	木	0.016	0	0. 028	0	0.020	0.006
	平均	J	0.015	0			0.018	0.007

資 4-2 放射 1 1 号線(尾久橋通り)の経年変化







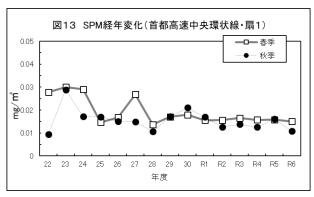
資料 5 首都高速中央環状線大気汚染調査結果

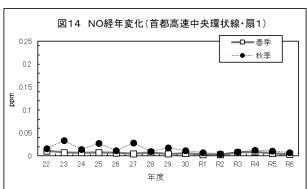
資 5-1 梅田一丁目:各物質の調査結果

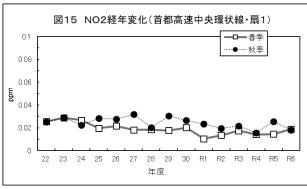
環境基準の達成評価は、短期的評価です。

				浮遊粒子			二酸化窒素	一酸化窒素
				(mg/	m^3		(ppm)	(ppm)
	日付	曜日	日平均	環境基準	1 時間値	環境基準	日平均	日平均
				○達成、×非達成	の最大	○達成、×非達		
						成		
第	6/14	金	0.019	0	0.028	0	0.026	0.007
1	6/15	土	0.012	0	0.025	0	0.016	0.005
口	6/16	日	0.010	0	0.014	0	0.011	0.000
春	6/17	月	0.019	0	0.027	0	0.022	0.004
季	6/18	火	0.012	0	0.025	0	0.015	0.000
	6/19	水	0.015	0	0.021	0	0.019	0.003
	6/20	木	0.016	0	0.022	0	0.024	0.005
	平均	Ī	0.015	0			0.019	0.004
第	11/21	木	0.009	0	0.019	0	0.020	0.011
2	11/22	金	0.016	0	0.033	0	0.031	0.023
口	11/23	土	0.004	0	0.006	0	0.005	0.000
秋	11/24	日	0.007	0	0.016	0	0.009	0.000
季	11/25	月	0.009	0	0.030	0	0.018	0.004
	11/26	火	0.017	0	0.030	0	0.023	0.006
	11/27	水	0.014	0	0.019	0	0.020	0.008
	平均		0.011	0			0.018	0.008

資 5-2 首都高速中央環状線の経年変化







資料 6 補 1 1 9 号線(墨堤通り) 大気汚染調査結果

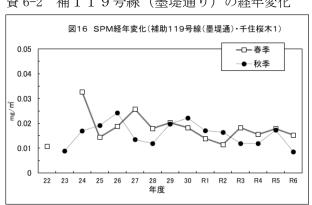
資 6-1 千住桜木一丁目:各物質の調査結果

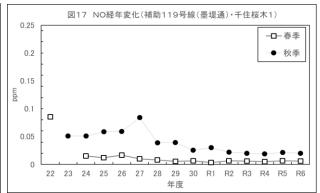
環境基準の達成評価は、短期的評価です。

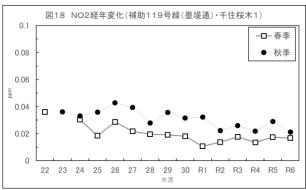
		√. I. 1		神可土が日とて		水池五十	ク圧成可闡は、必然	14.241 Im C \ 0
				浮遊粒子		二酸化窒素	一酸化窒素	
				(mg/	$'$ m 3)		(ppm)	(ppm)
	日付	曜日	日平均	環境基準	1 時間値	環境基準	日平均	日平均
				○達成、×非達	の最大	○達成、×非達		
				成		成		
第	6/14	金	0.018	0	0. 028	0	0.019	0.007
1	6/15	土	0.012	0	0. 016	0	0.009	0.003
口	6/16	日	0.011	0	0.016	0	0.010	0.003
春	6/17	月	0.020	0	0.029	0	0.020	0.007
季	6/18	火	0.013	0	0.026	0	0.022	0.008
	6/19	水	0.016	0	0.022	0	0.018	0.008
	6/20	木	0.016	0	0.022	0	0.021	0.007
	平均	ı	0.015	0			0.017	0.006
第	12/4	水	0.018	0	0.034	0	0.027	0.025
2	12/5	木	0.011	0	0.022	0	0.027	0.022
口	12/6	金	0.007	0	0.010	0	0.024	0.025
秋	12/7	土	0.006	0	0.010	0	0.016	0.010
季	12/8	日	0.004	0	0.012	0	0.009	0.006
	12/9	月	0.004	0	0.008	0	0.021	0.025
	12/10	火	-	0	0.017	0		_
	平均	ī	0.009	0			0.021	0.020

※12月10日は測定地点近傍にて工事があったため、測定値への影響を考え欠測扱いとする。

資 6-2 補 1 1 9 号線(墨堤通り)の経年変化







資料7 補140号線大気汚染調査結果

資 7-1 西綾瀬 4 丁目:各物質の調査結果

環境基準の達成評価は、短期的評価です。

				浮遊粒子			二酸化窒素	一酸化窒素
				(mg/			(ppm)	(ppm)
	日付	曜日	日平均	環境基準	1 時間値	環境基準	日平均	日平均
				○達成、×非達	の最大	○達成、×非達		
				成		成		
第	6/14	金	0.017	0	0.026	0	0.018	0.002
1	6/15	土	0.011	0	0.016	0	0.008	0.001
口	6/16	日	0. 010	0	0.017	0	0.009	0.001
春	6/17	月	0.019	0	0.028	0	0.015	0.002
季	6/18	火	0.012	0	0.026	0	0.014	0.001
	6/19	水	0.014	0	0.023	0	0.013	0.002
	6/20	木	0.016	0	0.020	0	0.019	0.003
	平均		0.014	0			0.014	0.002
第	12/4	水	0.018	0	0.036	0	0.021	0.007
2	12/5	木	0.011	0	0.021	0	0.021	0.007
口	12/6	金	0.007	0	0.016	0	0.018	0.009
秋	12/7	土	0.006	0	0.010	0	0.015	0.004
季	12/8	日	0.004	0	0.006	0	0.006	0.001
	12/9	月	0.003	0	0.009	0	0.011	0.003
	12/10	火	0.010	0	0.021	0	0.024	0.010
	平均		0.008	0			0.017	0.006

[※]特定地点は2年毎に変更するため、グラフの掲載はありません。

資料8 放射線調査結果

区では、区内の通常状態における放射線量を把握するために、区内の2ヶ所で月1回放射線量の測定を行っております。令和6年度の結果は下記のとおりです。

資 8-1 放射線量の調査結果

資 8-1 放射線量の	の調査結果	果						(単位:	μ Sv/h)
地 点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
区立中央公園	0.05	0.06	0.06	0.05	0.06	0.06	0.05	0.06	0.05
国道 4 号線梅島	0.07	0.06	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06

地 点	1月	2月	3月	令和6年度平均	令和5年度平均	令和4年度平均
区立中央公園	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
国道4号線梅島	0.06	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06

[※]測定位置:地上から高さ100cm

区では、原発事故後より臨時的に定点4地点で平日毎日測定しております。 令和6年度の年平均値は下記のとおりです。

資料 8-2 放射線量の調査結果

(単位: μ Sv/h)

東110 2 NX31NN 鱼	3 V NN E	小口 / ト									(十)5.	$\mu \text{ SV/II}$
	区立中 (中央	央公園 本町一丁]]		健センタ 田三丁目		足立清 (東伊	掃事務所 興)	Î		掃事務 住曙町)	所曙分
	100cm	50cm	5cm	100cm	50cm	5cm	100cm	50cm	5cm	100cm	50cm	5cm
令和4年度平均	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.06
令和5年度平均	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07	0.07	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.06
令和6年度平均	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07	0.07	0.06	0.06	0.07	0.07	0.07	0.06

資料9 ダイオキシン類調査結果

管 9-1 ダイオキシン類環境基準

_ 只 0 1 /	
項目	環境基準値
大気	0.6pg-TEQ/m³以下

単位:pg-TEQ/m3

※ダイオキシン類とは、ポリ塩化ジベンゾーパラージオキシン、ポリ塩 化ジベンゾフラン、及びコプラナ-PCBをあわせた総称

※多くの種類があるダイオキシン類の濃度は、その中で最も毒性の強 い 2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン(2,3,7,8-T CDD) に換算し、毒性等量 (TEQ: Toxic Equivalents Quantity) として表示します。

※基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾーパラージオキシンの毒性に 換算した値です。

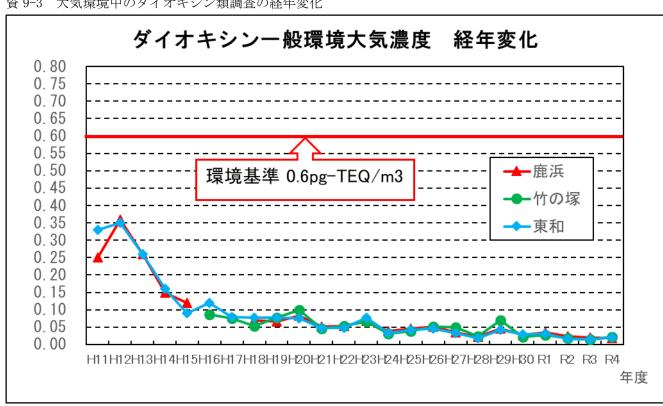
※1pg (ピコグラム)とは、1兆分の1グラムのことです。

※大気の基準値は、年平均値で考えます。

資 9−2	大気!	環境中の	Dダイオ	トキシン	類調査	結果						単位:	pg-TEQ/
調査機関		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度 8/19 ~8/26	R6 年度 2/6 ~2/13	R6 年度 平均値
	鹿浜	0.035	0.021	0.045	0.028	0.034	0.023	0.020	0.016	0.018	0.011	0.014	0.013
足立区	竹の塚	0.049	0.023	0.069	0. 022	0.027	0.018	0.015	0.016	0.023	0.0081	0.011	0.0096
	東和	0. 033	0.019	0.043	0. 029	0.031	0.016	0.014	0. 010	0.028	0.078	0.010	0.0089
東京都	西新井	0. 028	0. 028	0.029	0. 025	0.027	0. 026	0.021	0. 019	0.018			0.014

※平均値

資 9-3 大気環境中のダイオキシン類調査の経年変化



資料10 大気環境中のアスベスト濃度調査結果

位相差顕微鏡法による計数結果 (総維数濃度)

()当/台	:本/0)
(里1)/	· /4\ / \lambda /

Test (1900) 11 0 1 0 1 1 3 (1) 1 1 1	(ハロハーング・ログイン・			(
調査日	11/5	11/6	11/7 (木)	R6 年度 幾何平均	R5 年度 幾何平均
調査地点	(火)	(水)	(水)	VST1.1 1 4-0	751.1 1.62
南花畑1	0. 056	0.056	0. 17	0.081	0. 17
南花畑 2	0.056 未満	0. 22	0. 17	0. 12	0. 13

(検出限界 0.056F/ℓ)

[※] アスベストモニタリングマニュアル(第4.1版)(平成29年7月環境省水・大気環境局)により実施した。

資料11 光化学スモッグの緊急時発令基準及び措置

発令区分	発令地域	☆ △ 甘 ※		措置		備
光 7 色 万	区分	発令基準	一般	協力工場等	自動車	考
予報	区東部区南部	気象条件からみて光化 学スモッグ注意報等が 発令されると予想され るとき、又は、オキシ ダント濃度が光化学ス モッグ注意報発令基準 に近いうえ、さらに悪 化することが予想され るとき。	するものに対 し、ばい煙排出 量の減少につ いて協力を求	燃料使用量の削減 (これに準ずる計 置を含む)により、 ばい煙の排出量を 減少するよう自主 的協力を求める。	不目り等ない 要的 自使 こ で 動用 と 協 る 。 を い い め え を い い る が る り る り る り る り る る る る る る る る る る	日没後に
注意報	区西部 区北部	オキシダントの大気中における含有率が0.12ppm以上である状態になり気象条件からみてその状態が継続すると認められるとき。	の事項につい て、注意するよ う周知する。	燃料使用量を通常 使用量の20%程 度削減(これに準ず る措置を含む)する よう勧告する。	当該地域を 通過しない よう協力を 求める。	おける緊急時
警報	多摩北部多摩中部	オキシダントの大気中における含有率が0.24ppm以上である状態になり気象条件からみてその状態が継続すると認められるとき。	(2) 屋外運動 はさしひかえ るようにする	燃料使用量を通常 使用量の40%程 度削減(これに準ず る措置を含む)する よう勧告する。		の発令措置は行
重大警報	多摩西部多摩南部	オキシダントの大気中における含有率が0.40ppm以上である状態になり気象条件からみてその状態が継続すると認められるとき。	もよりの保健所に連絡する	燃料使用量を通常 使用量の40%以 上削減(これに準ず る措置を含む)する よう命令する。	東京都公安委員 会に対し道路交 通法の規定によ る措置をとるべ きことを要請す る	行わない
学校情報	上 記 8地域	(提供基準) オキシダン なり気象条件からみてそ		含有率が0. 10ppm 以 認められるとき。	上である状態に	

[※]平成10年4月より、上記の地域区分となった。

区北部地域は、足立区・葛飾区・荒川区・台東区・墨田区

資料12 光化学スモッグ注意報・学校情報の発令日数及び被害届出等の状況

資 12-1 注意報発令回数

年 度	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
区北部	2	2	5	2	3	1	5	2	1	2	2	2	3	5
東京都	9	4	17	9	14	5	6	9	7	6	6	7	4	15

資 12-2 学校情報発令回数

X == = ; [V, II] [V] [V =] [V, V]														
年 度	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
区北部	7	7	8	8	15	5	9	11	8	5	6	8	7	16
東京都	19	16	28	28	25	15	17	22	16	17	16	17	19	33

資 12-3 被害届出数

<u> </u>	K 1 · K I A A A													
年 度	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
足 立 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区北部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京都	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料13 水質汚濁に係る環境基準

資 13-1 生活環境の保全に関する環境基準 河川

(昭和46年環境庁告示第59号 改正令和3年環境庁告示第62号)

("01	和 46 年塚現庁告示弟 59 号 - 🖰	(正円作り十)	泵 現厅告示弗	04 5)		
月日				基準値	直	
類型	利用目的の適応性	水 素 イオン 濃 度 (pH)	生物化学的 酸素 要求量 (BOD)	浮遊物 質 量 (SS)	溶 存 酸素量 (DO)	大腸菌数 (90%水質値)
AA	水道1級、自然環境保全及び A以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/l 以下	25mg/1 以下	7.5mg/l 以上	20CFU/100m1 以下 ^{備考}
A	水道2級、水産1級、水浴及 びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/1 以下	25mg/1 以下	7.5mg/l 以上	300CFC/100ml 以下
В	水道3級、水産2級及びC以 下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/1 以下	25mg/1 以下	5mg/l 以上	1000CFC/100ml 以下
С	水産3級、工業用水1級及び D以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/1 以下	50mg/1 以下	5mg/1 以上	_
D	工業用水2級、農業用水及び Eの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/1 以下	100mg/1 以下	2mg/1 以上	_
Е	工業用水3級、環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/1 以下	ごみ等の浮 遊が認めら れないこと	2mg/1 以上	_

備考:水道1級を利用目的としている地点(自然環境保全を利用目的としている地点を除く。)については、大腸菌数100 CFU/100ml以下とする。

自然環境保全:自然探勝等の環境保全

水道1級 : ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの水道2級 : 沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの水道3級 : 前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

水産1級 : ヤマメ・イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用

水産2級 : サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

水産3級 : コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

工業用水3級:特殊の浄水操作を行うもの

環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。) において不快感を生じない限度

資 13-2 生活環境の保全に関する環境基準の水域類型指定一覧(改正平成 15年3月)

	類 型
中川中流(元荒川合流点から花畑川分岐点まで)	С
中川下流(花畑川分岐点より下流)	С
綾瀬川下流(古綾瀬川合流点より下流)	С
荒川下流 (笹目橋より下流)	С
隅田川(岩淵水門より下流)	С

資13-3 人の健康の保護に関する環境基準(昭和46年環境庁告示第59号 改正令和3年環境庁告示第62号)

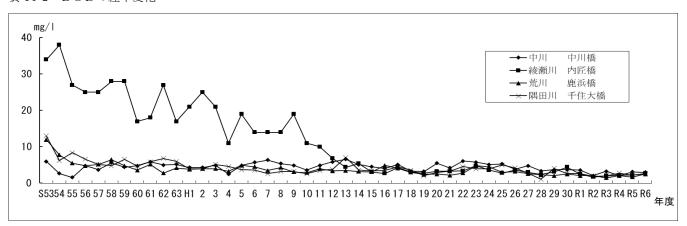
項目	基準値	項目	基準値	備考
カドミウム	0.003mg/1以下	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006mg/1 以下	1 基準値は年間平均値とする。た
全シアン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.01mg/1以下	だし、全シアンに係る基準値つい
鉛	0.01mg/1以下	テトラクロロエチレン	0.01mg/1 以下	ては、最高値とする。 2「検出されないこと」とは、測定
六価クロム	0.02mg/1以下	1, 3-ジクロロプロペン	0.002mg/1以下	方法の項に掲げる方法により測定
ヒ素	0.01mg/1以下	チウラム	0.006mg/1以下	した場合において、その結果が当
総水銀	0.0005mg/1以下	シマジン	0.003mg/1以下	該方法の定量限界を下回ることを いう。別表2において同じ。
アルキル水銀	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02mg/1 以下	3 海域については、ふっ素及びほ
РСВ	検出されないこと	ベンゼン	0.01mg/1 以下	う素の基準値は適用しない。
ジクロロメタン	0.02mg/1以下	セレン	0.01mg/1 以下	4 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の
四塩化炭素	0.002mg/1以下	研唆生及び亜青酸生窒素	10mg/1 以下	濃度は、規格 43.2.1、43.2.3、 43.2.5又は43.2.6により測定され
1, 2-ジクロロエタン	0.004mg/1以下	ふっ素	0.8mg/1以下	た硝酸イオンの濃度に換算係数
1, 1-ジクロロエチレン	0.1mg/1 以下	ほう素	1mg/1 以下	0.2259を乗じたものと規格43.1に
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04mg/1以下	1, 4-ジオキサン	0.05mg/1 以下	より測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたもの
1, 1, 1-トリクロロエタン	1mg/1 以下	_	_	の和とする。

資料14 河川定期水質調査結果

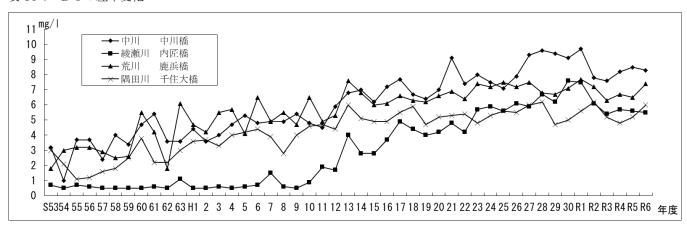
資 14-1 河川定期水質調査結果(年度平均値)

	No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	環境基準
	河川名	中川	綾瀬川	荒川	隅田川	毛長川	毛長川	伝右川	新芝川	垳川	垳川	見沼代用水	界児 基毕
	調査地点	中川橋	内匠橋	鹿浜橋	千住大橋	舎人橋	谷塚橋	伝右橋	南平大橋	六木	小溜井	一本橋	新刊 C
	水域類型	С	С	С	С								類型 C
4-	рН	7. 5	7.6	7.4	7.3	7.8	7.8	7.8	7.7	8.2	8.2	7.9	6.5以上8.5以下
生活	DO(mg/1)	8.3	5. 5	7.4	6.0	9.1	8.3	6.6	6. 9	12	13	10	5以上
環	COD(mg/1)	6.4	6.1	4.6	6. 4	4.3	5.8	6. 7	4.4	7.9	7.5	3.9	
境	BOD(mg/1)	3.0	2.7	2.5	2.6	3.2	3.4	3. 5	2.0	7.7	4.5	2.3	5以下
96	SS(mg/1)	24	22	8	18	8	19	11	12	10	22	6	50 以下
	四塩化炭素 (mg/1)	0.0001	0.0001	0. 0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.002以下
健	1, 1, 1-トリクロロ エタン(mg/l)	0.0001	0.0001	0. 0001	0. 0001	0.0001	0.0001	0.0002	0.0001	0.0001	0.0001	0. 0001	1以下
康	トリクロロエチレン (mg/1)	0.0005	0.0005	0. 0005	0. 0005	0.0005	0.0005	0.0018	0.0005	0.0005	0.0005	0. 0005	0.01以下
	テトラクロロエチレン (mg/1)	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0014	0.0002	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.01以下
	導電率 (mS/m)	119	224	549	438	30	39	54	420	63	142	26	
その	全リン (mg/l)	0. 276	0. 237	0. 330	0.452	0. 193	0. 273	0.320	0. 259	0. 583	0. 287	0. 149	
他	全窒素 (mg/1)	5. 21	4. 14	6.00	8. 67	3. 48	3. 60	3. 20	4. 98	5. 89	4. 36	2. 35	
	${ m MBAS(mg/1)}$	0.06	0.06	_	0.09	_	_	0.07	_	_	_	_	
現場	透視度(cm)	45	54	68	50	62	31	69	62	28	34	80	

資 14-2 BODの経年変化



資 14-3 DOの経年変化



資 14-4 第1回河川定期水質調査結果

_			<u></u> 上朔小貝		1					1			
	No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	採水月日
	河川名	中川	綾瀬川	荒川	隅田川	毛長川	毛長川	伝右川	新芝川	垳川	垳川	見沼代用水	
	調査地点	中川橋	内匠橋	鹿浜橋	千住大橋	舎人橋	谷塚橋	伝右橋	南平大橋	六木	小溜井	一本橋	令和6年
	水域類型	С	С	С	С								4月8日(月)
	採水時刻	10:20	9:00	11:05	10:57	10:07	9:40	9:13	10:30	9:45	9:17	10:00	****
	天候	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	満潮 4時38分 干潮10時48分
現場	気温 (℃)	24.0	22.0	24. 5	24.0	23.5	22.5	23.0	23.5	23.0	22.5	23. 5	満潮16時50分
湯測	水温 (℃)	18.0	17.0	17. 5	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	17. 5	19. 5	干潮 23 時 9 分
定	色相	無色	淡黄色	淡黄色	無色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	中黄色	淡黄色	
~_	臭気	微下水臭	微下水臭	微川藻臭	微下水臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微下水臭	微下水臭	微川藻臭	環境基準
	透視度 (cm)	53	65	55	50	59	34	47	42	21	14	70	類型C
	рН	7. 5	7. 5	7.3	7. 3	7.6	7.6	7. 6	7.6	8.6	9.3	7.9	6.5以上8.5以下
生	DO (mg/1)	7. 7	<u>4. 7</u>	9.2	6. 2	13	7.6	6.8	7. 7	18	28	13	5以上
活環	COD (mg/1)	6.4	5. 2	4.0	7.4	3.6	4.9	6. 7	4. 5	10	12	3. 7	
境	BOD (mg/1)	2.5	3. 9	3.9	4. 2	2.7	3.6	4. 3	3. 0	8.9	8.7	1.9	5以下
-516	SS (mg/1)	25	17	9	22	5	15	15	18	17	51	7	50 以下
	導電率 (mS/m)	40	218	214	250	25	31	45	55	43	43	20	
その	全リン (mg/1)	0. 341	0. 218	0. 370	0. 576	0. 158	0. 269	0. 509	0. 274	0. 468	0. 414	0. 133	
他	全窒素 (mg/1)	4.64	3. 35	6. 21	6. 96	2. 96	3. 44	2. 98	3. 75	3. 32	2. 43	1. 79	
	MBAS (mg/1)	0.07	0.08	-	0. 15	-	-	0.09	-	-	-	-	
	備考	順流	順流	順流	順流	順流	順流	順流	順流	停留	停留	順流	

[※] 斜字で下線の付いた数値は環境基準不適合

資 14-5 第 2 回河川定期水質調査結果

	No.	2 回码/H/ 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	採水月日
	河川名	中川	綾瀬川	荒川	隅田川	毛長川	毛長川	伝右川	新芝川	垳川	垳川	見沼代用水	
	調査地点	中川橋	内匠橋	鹿浜橋	千住大橋	舎人橋	谷塚橋	伝右橋	南平大橋	六木	小溜井	一本橋	令和6年
	水域類型	С	С	С	С								7月5日(金)
	採水時刻	10:35	9:10	11:22	11:10	10:30	9:57	9:00	10:59	10:00	9:20	10:26	進湖 9 吐 10 八
	天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	満潮 3 時 19 分 干潮 10 時 28 分
現場	気温 (℃)	32. 5	30.0	33. 0	33.0	31.5	29. 5	29.5	32. 5	32.0	30. 5	31.0	満潮17時43分
測	水温 (℃)	28. 5	28.0	28. 5	28.0	28.0	29. 5	28.5	28.0	30.0	28. 5	28. 5	干潮 22 時 56 分
定	色相	淡黄色	淡茶色	無色	無色	無色	淡黄色	淡黄色	淡茶色	中緑色	淡黄色	無色	1 101 == 0 == 50
	臭気	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	微下水臭	微川藻臭	微川藻臭	微下水臭	無臭	微下水臭	無臭	環境基準
	透視度 (cm)	45	70	80	41	75	38	>100	60	25	56	>100	類型C
生	рН	7. 5	7. 6	7.6	7.4	8.0	7.8	7.8	7. 7	8.2	7. 7	7. 9	6.5以上8.5以下
活	DO (mg/1)	7. 1	<u>4. 6</u>	5. 9	5. 5	7.4	7.0	4. 1	5. 3	16	4.3	9. 7	5以上
環	COD (mg/1)	5. 1	5. 1	4.8	5.8	2.9	4.3	4. 7	4. 1	6.0	5. 3	2.6	
境	BOD (mg/1)	2. 3	1. 4	1.5	1. 7	1. 1	1.9	1. 3	1. 7	8.4	1. 7	1.2	5 以下
-	SS (mg/l)	31	21	5	22	5	19	5	12	6	9	5	50 以下
	四塩化炭素 (mg/l)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.002以下
健	1, 1, 1, -トリクロ ロエタン (mg/l)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	1以下
康	トリクロロエチレン (mg/1)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.003	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下
	テトラクロロエチレン (mg/1)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0009	0.0003	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.01 以下
	導電率 (mS/m)	29	34	31	33	33	30	36	37	40	40	22	
その	全リン (mg/l)	0. 218	0. 211	0. 257	0. 396	0. 149	0. 230	0. 254	0. 225	0. 223	0. 209	0. 133	
他	全窒素 (mg/l)	2. 56	2. 34	3. 73	5. 95	4. 02	3. 20	2. 30	3. 26	2. 67	5. 15	1. 71	
	MBAS (mg/1)	0.03	0.04	1	0.05	-	-	0.04	1	-	-	-	
	備考	順流	順流	順流	順流	順流	順流	順流	順流	停留	停留	順流	

[※] 斜字で下線の付いた数値は環境基準不適合

資 14-6 第 3 回河川定期水質調査結果

	No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	採水月日
	河川名	中川	綾瀬川	荒川	隅田川	毛長川	毛長川	伝右川	新芝川	垳川	垳川	見沼代用水	
	調査地点	中川橋	内匠橋	鹿浜橋	千住大橋	舎人橋	谷塚橋	伝右橋	南平大橋	六木	小溜井	一本橋	令和6年
	水域類型	С	С	С	С								10月3日(木)
	採水時刻	10:40	9:00	11:12	11:18	10:26	9:55	9:10	10:45	10:06	9:27	10:18	\#*n = n+ = \
	天候	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	満潮 5 時 5 分 干潮 11 時 18 分
現	気温 (℃)	24.0	23.5	22. 5	23.5	24.0	24.0	24.5	23.0	24.0	23.5	24.0	満潮17時8分
場測	水温 (℃)	25.0	25.0	23. 5	24.0	23.5	24.0	25.0	24. 5	24.0	23. 5	24. 5	干潮23時31分
定	色相	無色	淡黄色	無色	淡黄色	淡茶色	淡茶色	無色	無色	淡黄色	淡黄色	淡茶色	
~	臭気	微下水臭	微下水臭	無臭	微川藻臭	無臭	無臭	無臭	無臭	微下水臭	微川藻臭	無臭	環境基準
	透視度 (cm)	53	45	65	35	48	27	>100	70	35	31	48	類型C
	рН	7.6	7.6	7. 5	7.4	7. 7	7.8	7.8	7.8	8.0	7.8	8.0	6.5以上8.5以下
生	DO (mg/1)	6.4	<u>3. 5</u>	5.8	5. 6	7.3	6.4	3.3	5. 5	5.9	6.3	8.8	5以上
活環	COD (mg/1)	6.0	6.5	4.0	5. 3	3.8	4.0	5. 2	4.0	7. 1	6.3	3. 3	
境	BOD (mg/1)	2.9	2.2	2.3	2.6	2.2	2.0	1.3	1.1	5.5	3.6	1.5	5以下
-96	SS (mg/1)	20	34	11	24	14	22	4	12	6	14	10	50 以下
	導電率 (mS/m)	43	109	131	168	23	28	54	58	82	179	23	
その	全リン (mg/l)	0. 257	0.303	0. 282	0. 438	0. 185	0. 234	0. 181	0. 208	0. 532	0. 286	0. 148	
他	全窒素 (mg/l)	4. 44	3. 43	4. 93	6. 88	2. 45	2. 88	3. 17	3. 63	4. 37	2. 98	2. 11	
	MBAS (mg/1)	0.06	0.06	-	0.07	_	_	0.06	-	-	-	_	
	備考	順流	順流	順流	順流	順流	順流	順流	順流	停留	停留	順流	

[※] 斜線で下線部の付いた数値は環境基準不適合

資 14-7 第 4 回河川定期水質調査結果

	No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	採水月日
	河川名	中川	綾瀬川	荒川	隅田川	毛長川	毛長川	伝右川	新芝川	垳川	垳川	見沼代用水	
	調査地点	中川橋	内匠橋	鹿浜橋	千住大橋	舎人橋	谷塚橋	伝右橋	南平大橋	六木	小溜井	一本橋	令和7年
	水域類型	С	С	С	С								1月29日(水)
	採水時刻	10:22	9:10	10:51	10:55	9:55	9:29	9:00	10:15	9:55	9:23	9:45	壮和 5 叶 40 八
	天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	満潮 5時48分 干潮11時9分
現場	気温 (℃)	11.5	7.5	10. 5	11.5	10.5	8.5	11.5	10.5	8.5	8.5	10.5	満潮 16 時 26 分
湯測	水温 (℃)	11.5	9.5	11.5	14.0	7.5	8.5	9.0	10.0	8.0	5.5	7.0	干潮 23 時 28 分
定	色相	淡灰黄色	淡灰黄色	無色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	中灰黄色	無色	淡灰黄色	淡灰黄色	淡黄色	1 141 25 41 20 71
足	臭気	微川藻臭	微川藻臭	微下水臭	微川藻臭	微下水臭	微下水臭	微下水臭	微下水臭	微川藻臭	微川藻臭	微川藻臭	環境基準
	透視度 (cm)	30	35	71	72	66	24	25	74	30	35	>100	類型C
4-	рН	7.5	7.5	7.3	7. 1	7.8	7.8	7.8	7. 5	8.0	7.8	7. 9	6.5以上8.5以下
生活	DO (mg/)	12	9.2	8.5	6.6	8.7	12	12	9. 1	7.4	12	9.6	5 以上
環	COD (mg/1)	7.9	7.4	5.6	7.0	7.0	9.8	10	4. 9	8.6	6.3	5. 9	
境	BOD (mg/1)	4.2	3. 1	2.4	1.8	6.7	6.2	7. 1	2.2	7.8	4.1	4.6	5 以下
-96	SS (mg/1)	19	17	5	4	8	20	21	5	10	14	2	50 以下
	四塩化炭素 (mg/l)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.002以下
健	1, 1, 1, -トリクロ ロエタン (mg/1)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	1以下
康	トリクロロエチレン (mg/1)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
	テトラクロロエチレン (mg/1)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0018	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.01以下
	導電率 (mS/m)	365	533	1820	1300	40	65	79	1530	87	304	38	
その	全リン (mg/l)	0. 287	0. 216	0. 412	0. 398	0. 278	0. 359	0. 334	0. 329	1. 11	0. 237	0. 181	
他	全窒素 (mg/l)	9. 19	7. 42	9. 14	14.9	4. 47	4. 88	4. 36	9. 27	13. 2	6.89	3. 77	
	MBAS (mg/1)	0.06	0.07	-	0.07	_	-	0.08	-	-	-	-	
	備考	順流	停留	停留	順流								

資料15 河川生物調査結果

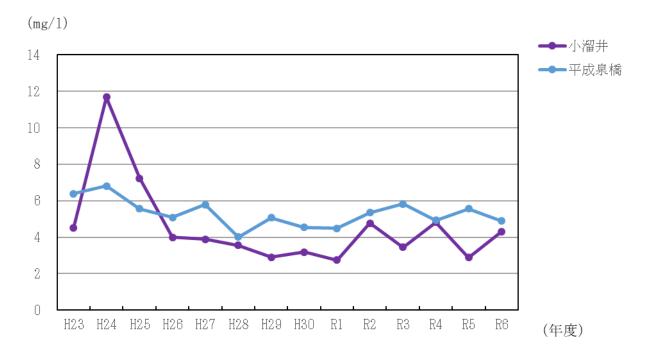
貝介	¥15 }	可川生物調査約 「	万 <u>未</u> 								
				荒川				瀬川		毛長川	垳川
No	目	科	和名	新田三丁目地先	千住新橋緑地	卢匠稽 上流 代 近	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	公園付近	桑袋ビオトープ	上流付近	葛西用水合流
				9月	9月	7月	10 月	7月	10 月	9月	9月
1	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ	1							
2	コイ	コイ	コイ (飼育型)		1	1			1		2
3			ゲンゴロウブナ								2
4			ギンブナ						4	2	9
5			ハス	1							1
6			オイカワ								1
7			ウグイ属			2					
8			モツゴ						2		11
9			ニゴイ	1		2				4	
10			スゴモロコ							8	7
11	ナマズ	ギギ	コウライギギ				1				
12		ナマズ	ナマズ					1			
13	ボラ	ボラ	ボラ	7	6			3		3	10
14	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ		2						4
15	スズキ	スズキ	スズキ	2	2				2		1
16		サンフィッシュ	ブルーギル					1	21		13
17		シマイサキ	シマイサキ	1	4				5		
18		ハゼ	マハゼ	4	5	8			1	19	
19			アベハゼ	1	3						
20			シモフリシマハゼ			4	2		1		
21			ヌマチチブ	1		11	2	3	1	5	
22			ウロハゼ				1				
23			ビリンゴ		1	1					
24		タイワンドジョウ	カムルチー						1		
				9種	8種	7種	4種	4種	10 種		
合計 6目11科24種			40.50		9	種	12	:種	6種	11 種	
				12	1里		1	7 種			

[※]種名および分類は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和5年度生物リスト」に準拠した。 ※表中の数は個体数を示す。

資料 1 6 垳川水質調査結果 資 16-1 垳川水質調査結果 (年度平均値)

測定項目(単位)	小溜井	平成泉橋
DO (mg/1)	10	9. 2
BOD (mg/1)	4. 3	4. 9
COD (mg/1)	7. 2	7. 6
S S (mg/1)	15	13
透視度 (с m)	39	37

資 16-2 BODの経年変化

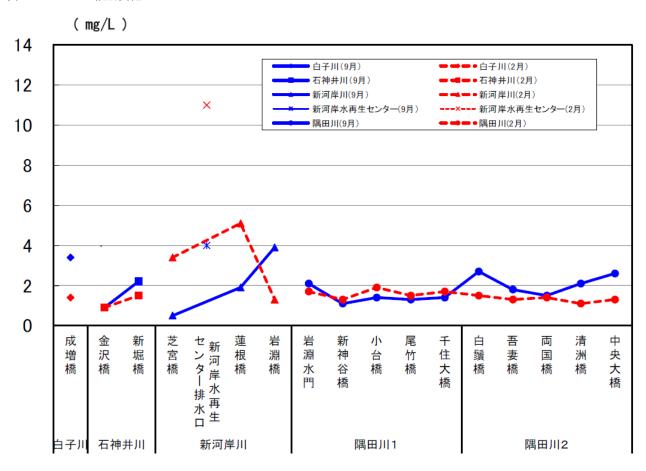


資料17 隅田川水系浄化対策連絡協議会調査結果

資17-1 隅田川水系図(橋名は採水地点)



資 17-2 BOD縦断変化



資 17-3 第 1 回合同水質調査結果

採水日 令和6年9月18日 水曜日 前日天候 晴 満潮 4:33, 17:24 干潮 11:09, 23:27 (潮位:東京検潮所)

																		_
河川名	採水地点	天候	採水 時刻	気温 ℃	水温 ℃	色相	臭 気	透視度 cm	рН	DO mg/L	BOD mg/L	COD mg/L	SS mg/L	Cl ⁻ mg/L	T-N mg/L	T-P mg/L	NH4 ⁺ -N mg/L	担当区
白子川	成 増 橋	晴	11:06	35.0	25.8	暗緑色	なし	>100	7.6	9.7	3.4	1.6	1	13	5.26	0.135	0.03	板橋
石物	金 沢 橋	晴	9:05	31.8	23.2	無色	なし	>100	7.4	9.8	0.9	1.3	1	13	5.07	0.113	0.01	板橋
神井川	新 堀 橋	晴	10:05	33.4	29.2	灰黄緑色	微潮臭	58	7.3	5.2	2.2	4.7	7	28	6.30	0.289	0.62	北
	芝宮橋	晴	10:18	34.3	27.5	黄緑色	なし	77	6.8	7.2	<0.5	4.0	14	21	5.16	0.411	0.22	板橋
新河	新河岸水再生 センター排水口	晴	9:52	(34.5)	(29.7)	(黄緑色)	(なし)	(>100)	(6.5)	(6.7)	(4.0)	(6.3)	(5)	(45)	(9.36)	(0.553)	(1.17)	板橋
岸川	蓮 根 橋	晴	10:38	36.0	27.2	茶褐色	なし	55	6.9	6.5	1.9	3.8	11	20	4.77	0.438	0.07	板橋
	岩淵 橋	晴	11:10	36.3	28.8	灰黄緑色	なし	61	7.4	8.6	3.9	5.0	15	26	5.59	0.418	0.24	北
	岩淵水門	晴	11:45	39.0	29.3	灰黄緑色	なし	25	7.4	6.2	2.1	5.2	27	24	6.01	0.356	0.24	北
隅田	新神谷橋	晴	10:00	30.0	28.0	暗緑色	微川藻臭	68	7.2	6.9	1.1	3.9	9	22	8.67	0.318	0.30	足立
Ш	小 台 橋	晴	10:55	34.5	27.5	暗緑色	微下水臭	78	7.4	4.9	1.4	4.2	16	29	7.59	0.414	0.46	荒川
1	尾竹橋	晴	10:00	36.5	28.0	暗緑色	微下水臭	29	7.4	4.3	1.3	4.4	35	27	6.53	0.401	0.50	荒川
	千住大橋	晴	10:00	29.5	27.5	灰緑色	中下水臭	50	7.1	4.3	1.4	5.0	14	29	9.88	0.336	0.76	足立
П	白鬚 橋	晴	10:00	32.5	31.1	黄緑色	微潮臭	38	7.1	4.7	2.7	6.8	36	20	6.98	0.401	0.73	台東
隅	吾 妻 橋	晴	10:50	34.1	30.8	黄緑色	微潮臭	32	7.2	4.4	1.8	5.7	26	27	6.84	0.353	0.69	台東
隅田川	両国橋	晴	10:05	37.0	30.4	灰茶色	微下水臭	55	6.9	3.0	1.5	4.5	15	927	6.39	0.311	0.93	墨田
2	清 洲 橋	晴	10:00	32.0	29.7	暗緑色	微潮臭	72	8.3	2.6	2.1	5.0	2	2000	3.20	0.348	0.98	江東
	中央大橋	晴	10:02	31.8	29.1	暗緑色	海藻臭	63	7.2	3.6	2.6	5.4	8	3340	4.25	0.313	0.95	中央

^{※1} 新河岸水再生センター排水口は下水処理水のため参考値とし、()で示す。

資 17-4 第 2 回合同水質調査結果

採水日 令和7年2月12日 水曜日 前日天候 晴 満潮 5:38,16:41 干潮 11:15,23:29 (潮位:東京検潮所)

河川名	採水地点	天候	採水 時刻	気温 ℃	水温 ℃	色相	臭 気	透視度	рН	DO mg/L	BOD mg/L	COD mg/L	SS mg/L	Cl ⁻ mg/L	T-N mg/L	T-P mg/L	NH ₄ +-N mg/L	担当区
白子川	成 増 橋	曇	11:50	9.2	7.3	暗緑色	なし	>100	7.7	15.0	1.4	1.1	2	16	5.19	0.040	<0.01	板橋
石神	金 沢 橋	曇	9:05	6.0	6.7	無色	なし	>100	7.6	14.8	0.9	1.0	<1	15	5.28	0.043	<0.01	板橋
石神井川	新 堀 橋	曇	10:00	5.7	9.6	暗灰黄緑色 (10Y7.5/2.5)	微潮臭	>100	7.3	8.4	1.5	5.9	1	2590	6.31	0.283	1.12	北
	芝宮橋	曇	10:50	7.0	14.3	黄緑色	なし	>100	6.8	8.5	3.4	6.8	3	57	11.2	0.798	1.24	板橋
新河	新河岸水再生 センター排水口	曇	10:28	(6.9)	(17.5)	(黄緑色)	(微下水臭)	(>100)	(6.5)	(7.7)	(11)	(9.0)	(2)	(62)	(13.0)	(1.44)	(0.87)	板橋
岸川	蓮 根 橋	曇	10:35	8.1	14.5	茶褐色	微下水臭	47	6.5	8.5	5.1	7.5	13	54	11.6	0.888	0.88	板橋
	岩 淵 橋	雲	10:55	17.2	13.5	暗灰緑黄色 (7.5Y4.0/3.0)	微潮臭	86	7.0	7.0	1.3	8.6	5	321	10.1	0.636	1.42	北
	岩淵水門	曇	11:25	12.0	13.0	暗灰黄緑色 (10Y7.5/2.5)	微潮臭	79	7.0	7.1	1.7	8.9	7	1,240	9.37	0.679	1.95	北
隅	新神谷橋	晴	10:00	8.5	12.5	濃青緑色	微下水臭	>100	7.9	6.9	1.3	6.0	4	2,330	8.74	0.652	1.83	足立
田川	小 台 橋	曇	10:50	7.0	12.0	暗緑色	微下水臭	>100	7.4	6.9	1.9	5.2	8	4,030	9.39	0.518	1.85	荒川
1	尾竹橋	曇	10:00	7.0	12.0	暗緑色	微下水臭	>100	7.5	6.8	1.5	4.8	12	5,600	9.00	0.421	1.90	荒川
	千住大橋	晴	10:00	7.0	12.0	暗緑色	微下水臭	>100	7.9	8.3	1.7	6.0	4	4,630	8.70	0.407	3.54	足立
	白鬚 橋	晴	10:00	6.5	11.7	暗緑色	なし	83	7.6	7.4	1.5	5.0	13	9,350	5.20	0.296	1.61	台東
隅	吾 妻 橋	晴	10:40	8.1	11.0	暗緑色	なし	83	7.5	7.4	1.3	5.2	13	9,930	5.31	0.284	1.56	台東
田川	両 国 橋	晴	9:55	5.2	10.0	暗緑色	微下水臭	>100	7.6	7.4	1.4	3.0	7	16,200	4.91	0.196	0.71	墨田
2	清 洲 橋	曇	10:00	6.6	10.2	暗緑色	微潮臭	>100	7.6	8.1	1.1	3.7	<1	13,000	3.61	0.208	0.73	江東
1	中央大橋	晴	10:26	6.0	9.8	濃緑色	微川藻臭	>100	7.9	8.6	1.3	3.5	4	12.700	1.45	0.096	0.15	中央

^{※1} 新河岸水再生センター排水口は下水処理水のため参考値とし()で示す。 ※2 色相の「無色」は、川底が見える状態を示す。 ※3 は環境基準値を満たさなかった測定値を示す。

^{※2} 色相の「無色」は、川底が見える状態を示す。

^{※3} は環境基準値を満たさなかった測定値を示す。

資料18 騒音・振動に関する基準

資 18-1 騒音の環境基準 (H10.9.30 環境庁告示第 64 号)

(単位:dB)

4-4414	該 当 地 域	éп	4-411		道路に面	する地域	
地域の		一般	地域	2 車線	以上	幹線道路	
類型	平成 24 年 4 月 1 日足立区告示第 157 号	6~22 時	22~6 時	6~22 時	22~6 時	6~22 時	22~6 時
A	都市計画法第9条第1項から第4項までに定められた第一・第二種低層住居専用地域、第一・第二種中高層住居専用地域並びにこれらの接する地先及び水面	55 以下	45 以下	60 以下	55 以下	70 以下	65以下
В	都市計画法第9条第5項から第7項までに定められた第一・第二種住居地域、準住居地域及び都市計画法第8条第1項第1号の規定により用途地域の定められていない地域並びにこれらに接する地先及び水面		45 以下	65 以下	60 以下	70以下	00W L
()	都市計画法第9条第8項から第11項までに定められた近隣商業地域、商業地域、準工業地域及び工業地域並びにこれらに接する地先及び水面	60 以下	50 以下	1 車線 65 以下	Q以上 60 以下		

※足立区の区域。ただし、都市計画法(昭和43年法律第100号)第8条第1項第1号の規定による工業専用地域を除く。

資 18-2 自動車騒音要請限度(H12.12.15 総理府令第 15 号)(H12.3.15 都告示第 279 号)

	古 伯 粉	限度(単	位:dB)
区域の区分	車線数	昼 間	夜 間
		6~22 時	22~6 時
区 域 A	1 車線	65	55
	2 車線以上	70	65
区 域 B	1 車線	65	55
	2 車線以上	75	70
区 域 C	1 車線以上	75	70
幹線道路に近接する区域	_	75	70

- (注1) 区域Aは、専ら住居の用に供される区域、 区域Bは、主として住居の用に供される区域、区域Cは相当数の住居と併せて商業工業 の用に供される区域をいいます。
- (注2) 幹線道路とは、国道、都道、4車線以上の 区道および高速道路等をいいます。区域A・ B・Cのうち、幹線道路に近接する区域に該 当した場合には、幹線道路の限度が適用され ます。

資 18-3 自動車振動要請限度 (S52. 3. 30 都告示第 242 号) (単位:dB)

地	時 間 域	昼間	夜 間
第一種区域	第一種低層住居專用地域 第二種低層住居專用地域 第一種中高層住居專用地域 第二種中高層住居專用地域 第一種住居地域 第二種住居地域 第二種住居地域 準住居地域	6 5 (8~19 時)	6 0 (19~8 時)
第二種区域	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域	7 0 (8~20 時)	65 (20~8時)

資 18-4 工場・指定作業場に係る騒音の規制基準 (環境確保条例)

(単位:dB)

区	域の区分			時間	の区	3 分		
	あてはめ地域	6 🖡	時朝8	時 昼間 19	時	夕 23	3 時 夜間	6時
第一種区域	第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 AA地域 前号に接する地先及び水面		4 0	4 5		4 0	4 0	
第二種区域	第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域 第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域 準住居地域 無指定地域(第一、三、四 種区域を除く)		4 5	5 0		4 5	4 5	
第三種区域	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 前号に接する地先及び水面		5 5	6 0		5 5	5 0	
第四種区域	工業地域		6 0	7 0		6 0	5 5	

ただし、第二種区域、第三種区域又は第四種区域の区域内に所在する学校、保育所、病院、診療所、図書館、 老人ホームおよび認定こども園の敷地の周囲おおむね50mの区域内における基準は、当該値から5dBを減じた値

資 18-5 工場・指定作業場に係る振動の規制基準(環境確保条例)

区	或の区分		時	間	の区	分		
	あてはめ地域	8	時 昼間 1	9時		夜間	8	時
第一種区域	第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域 第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域 無指定地域		6 0	20	時	5 5		
第二種区域	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域 前号に接する地先及び水面		6 5			6 0		

(単位:dB)

ただし、第二種区域、第三種区域又は第四種区域の区域内に所在する学校、保育所、病院、診療所、図書館、老人ホームおよび認定こども園の敷地の周囲おおむね 50mの区域内における基準は、当該値から 5dB を減じた値とする。

資 18-6 騒音・振動のめやす (1) 騒音のめやす 0 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120 130 dB 木の葉のふれあう音 郊外の深夜・ささやき声 騒 地 電車が通るガード下 飛 大声・犬の鳴き声 (最大可 (最小可聴音) なし 下鉄の IJ かな住宅地 通の会話 かな事務所内 行機のエンジンの近く コプター V 街頭 車内 聴音) のそば (2) 振動のめやす 50 60 70 80 90 100 dB があるが関れることがある。座りの悪棚にある食器類が音 置物が倒れる がある。座りの悪い 棚にある食器類、書 がわずかに揺れる灯などの吊り下げ物の人が感じ、電 が感ずる を立てることがある棚にある食器類が音 人体に感じない程 いる人だけ 物電 (無 感) (微 震) (軽 震) (弱 震) (中 震) (強 震)

資料19 主要幹線道路騒音調査(リンク調査)結果

	113 工安轩脉	.但阿思日明且.		,,						
N.T	道路名	细木地上	3m ★ □ □	丰炉料	騒音し	ノベル	環境	基準	要請	限度
No.	(通称名)	調査地点	調査月日	車線数	昼	夜	昼	夜	昼	夜
1	都道318号 環状七号線 (環七通り)	新田 2-4	11/19~ 11/20	4	70	67				
2	都道307号 王子金町江戸川線 (環七通り)	大谷田 4-1	10/31~ 11/1	4	71	69				
3	一般国道 4 号線 (日光街道)	千住河原町 10	12/3~ 12/4	7	73	70				
4	一般国道 4 号線 (日光街道)	中央本町 1-5	12/3~ 12/4	4	70	68				
5	一般国道 4 号線 (日光街道)	西保木間 1-15	11/25~ 11/26	4	72	70	70	65	75	70
6	都道307号 王子金町江戸川線	西新井本町 2-3	11/13~ 11/14	2	62	59				
7	都道450号 新荒川葛西堤防線 (補助113号線)	本木南町 2	11/13~ 11/14	4+高速	69	67				
8	都道314号 言問大谷田線 (補助109号線)	綾瀬 3−12	11/28~ 11/29	2	64	58				
9	都道308号 千住小松川葛西 沖線 (補助140号線)	綾瀬 1−11	11/28~ 11/29	2+高速	64	63				

資料20 自動車騒音常時監視調査結果

資 20-1 対象道路、測定地点及び騒音レベル・面的評価

貝 4	[20-1 対象担鉛、例と地点及び騒音レベル・国的評価										
					騒音測	啶緦		昼	間	夜	間
No.	道路名	区間起点	区間終点	測定地点	Leq	(dB)	面的評価像	環境	準主成	環態	準達成
					昼.	夜	戸数(戸)	戸	%	戸	%
1	高速 6 号三郷線	綾瀬 1−1	加平 2-1	綾瀬 4-21	62	62	1, 297	1, 279	98. 6	1, 262	97. 3
2	高速中央環状線	足立	足立	足立 2-51	68	64	212	160	75. 5	124	58. 5
3	一般国道4号	千住橋戸町	千住	千住宮元町3	住宮元町3 70 70 5,077 4,9		4, 946	97. 4	3,860	76.0	
4	王子金町江戸 川線	西新井 1-7	島根 1-1	島根 1-9	島根 1-9 68 65 2,906 2,898 99		99. 7	2,877	99. 0		
5	王子金町江戸 川線	大谷田 1-1	中川	-	-	I	319	319	100. 0	319	100.0
6	上野尾竹橋線	千住桜木	千住桜木 2-12	千住桜木 2-11	66	64	328	328	100.0	328	100.0
7	環状 7 号線	新田	西新井 1-7	椿 1-5	70	69	2, 564	2, 492	97. 2	1,954	76. 2
8	東京鳩ケ谷線	椿 2-1	入谷	皿沼 1-9	66	61	1, 160	1, 155	155 99.6 1,15		99.2
9	内匠橋花畑線	南花畑 3-21	花畑	花畑 2-16	64	59	1, 537	1, 537	100.0	1, 537	100.0
	合 計							15, 104	98. 1	13, 404	87. 1

[※] No.5 は、区間内の騒音測定を実施せず、他の評価区間における騒音測定結果を準用する方法を用いた。

[※] 昼間:6~22時、夜間:22~6時

[※] 合計の戸数は、各評価区間で重複している戸数を修正した戸数を計上

[※] 環境基準達成率については、小数点以下第2位を四捨五入した。

資 20-2 自動車交通量、走行速度、道路振動レベル

No.	道路名	測定地点		三交通量 / h)	走行速度	度(km/h)	振動測定結果 L10 (dB)		
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
1	高速 6 号三郷線	綾瀬 4−21	4,826	2, 154	<u>-</u>	- -	47	47	
	高速中央環状線		4, 464	1,677	_	-	40	36	
2	(併設道路) 千住小松 川葛西沖線	足立 2-51	1, 131	233	44. 0	44. 5	-	-	
3	一般国道4号	千住宮元町3	2, 521	1,023	43. 5	51. 5	44	42	
4	王子金町江戸川線	島根 1-9	2, 522	767	44. 5	55. 0	45	43	
5	王子金町江戸川線	-	-	_	-	-	-	-	
6	上野尾竹橋線	千住桜木 2-11	719	197	37. 5	46. 5	44	42	
7	環状7号線	椿 1-5	2,006	770	43. 5	47. 0	48	45	
8	東京鳩ケ谷線	皿沼 1-9	582	112	37. 0	39. 0	41	34	
9	内匠橋花畑線	花畑 2-16	293	58	37. 5	39. 0	38	29	

[※] No.5 は、区間内の交通量調査・速度測定・振動測定を実施していない。

[※] No.1 は、速度測定については未実施である。

資料21 認可届出等事務処理状況

資 21-1 東京都環境確保条例に基づく事務処理状況(令和6年度)

	項目(根拠条項)	件数
	工場設置認可申請受理(81条)	8
	工場設置認可(81条)	7
	工場設置認定(84条2項)	7
	工場変更認可申請受理(82条1項)	37
	工場変更認可(82条1項)	38
	工場変更認定(84条2項)	33
	現況届(86条)	0
	事故届 (98条)	1
	氏名等変更届(87条)	42
	廃止届 (87条)	49
工	承継届(88条3項)	19
	公害防止管理者適任(解任)届(105条2項)	7
	地下水揚水量報告(97条)	33
	土壌汚染状況調査報告(116条、116条の2)	14
場	調査猶予確認申請・確認事項変更届(116条)	1
勿	土壌地下水汚染対策計画書、指示・命令、完了届(116条、116条の2)	1
	汚染拡散防止計画書・完了届(116条の3)	10
	化学物質使用量等報告(110条)	65
	化学物質管理方法書受理(111条)	2
	改善勧告(100条)	0
	改善命令(102条1項)	0
	工場立入件数(152条)	77
	改善指示件数(152条)	0
	苦情受付件数(発生源別)	37
	苦情処理件数 (発生源別)	34
	指定作業場設置届(89条)	13
	指定作業場変更届(90条)	12
	氏名等変更届 (93条で準用する87条)	70
	廃止届 (93条1項で準用する87条)	10
	承継届(93条2項で準用する88条3項)	1
	地下水揚水量報告(97条)	32
	土壌汚染状況調査報告(116条、116条の2)	3
指	調査猶予確認申請・確認事項変更届(116条)	1
定	土壌地下水汚染対策計画書、指示・命令、完了届(116条、116条の2)	0
作业	汚染拡散防止計画書・完了届(116条の3)	2
業	化学物質使用量等報告(110条)	58
場	化学物質管理方法書受理(111条)	4
	改善勧告(100条)	0
	改善命令(102条1項)	0
	指定作業場立入件数(152条)	18
	改善指示件数(152条)	0
	苦情受付件数 (発生源別)	17
	苦情処理件数 (発生源別)	10
そ	地下水揚水量報告(135条)	59
Ø	改善勧告・改善命令(125条)	0
他	立入件数(152条)	4
発生	苦情受付件数(発生源別)	351
源	苦情処理件数 (発生源別)	338

資 21-2 法律に基づく特定施設の届出(令和6年度)

	項 目	件	数
騒音規制	制法		
	特定施設設置届		5
	特定施設変更届		11
	特定施設全廃届		12
	計		28
振動規制	制法		
	特定施設設置届		4
	特定施設変更届		9
	特定施設全廃届		14
	計		27
	合 計		55

資 21-3 特定建設作業の届出(令和6年度)

作 業 の 種 類	件数
騒音規制法	
杭打ち機等を使用する作業	17
びょう打ち機を使用する作業	0
さく岩機を使用する作業	476
空気圧縮機を使用する作業	10
コンクリートプラントを使用する作業	0
バックホウを使用する作業	12
トラクターショベルを使用する作業	0
ブルドーザーを使用する作業	0
計	515
振動規制法	
杭打ち機等を使用する作業	16
鋼球を使用して破壊する作業	0
舗装版破砕機を使用する作業	0
ブレーカーを使用する作業	333
計	349
合 計	864

資料22 認可工場

資 22-1 町丁別認可工場数(令和7年3月31日現在)

町丁名	工場数	町丁名	工場数
青井1~6	50	東綾瀬 1~3	7
足立 1~4	66	東伊興 1~4	9
綾瀬 1~7	42	一ツ家 1~4	19
伊興 1~5	10	東保木間 1, 2	13
伊興本町 1,2	2	平野 1~3	15
入谷 1~9	221	東六月町	7
梅田 1~8	193	保木間 1~5	47
梅島 1~3	77	保塚町	12
扇 1~3	140	堀之内 1, 2	45
大谷田 1~5	22	南花畑 1~5	51
興野 1, 2	56	六木 1~4	22
加賀 1, 2	8	本木 1, 2	66
加平1~3	20	本木北町	17
北加平町	12	本木西町	22
栗原 1~4	9	本木東町	21
江北 1~7	82	本木南町	31
弘道 1, 2	13	谷中 1~5	17
古千谷 1, 2	2	谷在家 1~3	15
古千谷本町1~4	8	六月 1~3	11
佐野 1, 2	5	六町 1~4	28
皿沼 1∼3	20	新田 1~3	71
鹿浜 1~8	89	小台 1, 2	120
島根 1~4	29	宮城 1, 2	92
神明南 1, 2	24	千住東 1, 2	22
神明 1~3	22	千住曙町	23
関原 1~3	133	千住旭町	11
竹の塚 1~7	18	千住関屋町	18
辰沼 1, 2	27	日ノ出町	20
中央本町 1~5	73	柳原 1, 2	61
椿 1, 2	14	千住大川町	15
東和 1~5	19	千住河原町	10
舎人 1~6	24	千住寿町	12
中川 1~5	29	千住桜木 1, 2	12
西綾瀬 1~4	16	千住龍田町	19
西新井本町1~5	48	千住橋戸町	14
西加平 1, 2	8	千住緑町1~3	83
西伊興1~4(西伊興町含)	31	千住宮元町	17
西新井栄町1~3	19	千住元町	20
西新井1~7	46	千住柳町	5
西竹の塚 1, 2	3	千住 1~5	26
西保木間 1~4	27	千住中居町	7
花畑 1~8	32	千住仲町	12
		総 工 場 数	2, 954

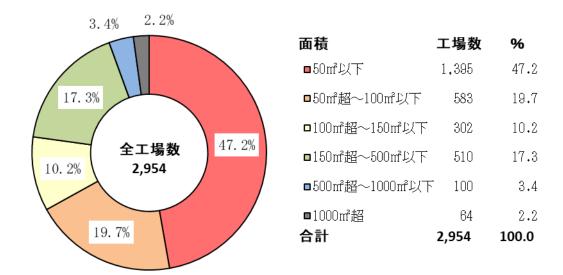
50 音カナ順 (ただし、新田・小台・宮城地域及び千住地域はまとめています)

資 22-2 業種別認可工場数の割合(令和7年3月31日現在)

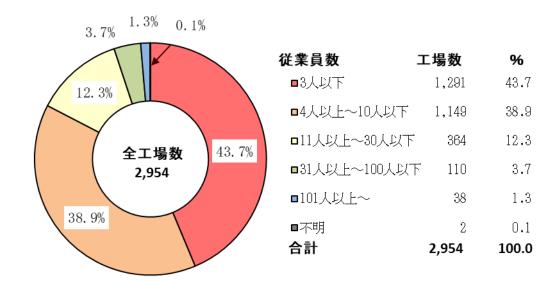
大分類(工場数)	中分類(工場数)								
	食料品製造業(105)、木材・木製品製造業(93)、								
	家具・装備品製造業(125)、パルプ・紙・紙加工品製造業(115)、								
	印刷・同関連業(142)、プラスチック製品製造業(113)、								
製造業(2306)	なめし革・同製品・毛皮製品製造業(79)、金属製品製造業(648)、								
	一般機械器具製造業(263)、電気機械器具製造業(64)、								
	輸送用機械器具製造業(89)、精密機械器具製造業(89)、								
	上記以外の製造業(381)								
電機・ガス	該当なし								
熱供給水道業	ix = / s C								
情報通信業	該当なし								
運輸業(8)	鉄道業(3)、道路旅客運送業(3)、道路貨物運送業(1)、運輸に附帯								
建 糊未(0)	するサービス業(1)								
 卸売業・小売業(87)	建築材料,鉱物・金属材料等卸売業(64)、								
斯凡来 有仍未(01)	その他の卸売業・小売業(23)								
金融業 • 保険業	該当なし								
不動産業	該当なし								
飲食店	該当なし								
医療、福祉(1)	医療業(1)								
教育、学習支援業	該当なし								
複合サービス事業	該当なし								
サービス業(551)	廃棄物処理業(103)、自動車整備業(392)、								
ッ・ころ未(551)	上記以外のサービス業(56)								
公務(1)	地方公務(1)								

[※]日本標準産業分類(平成14年[2002年]3月改定)参照

資 22-3 作業場面積別認可工場数の割合(令和7年3月31日現在)



資 22-4 従業員数別認可工場数の割合(令和7年3月31日現在)



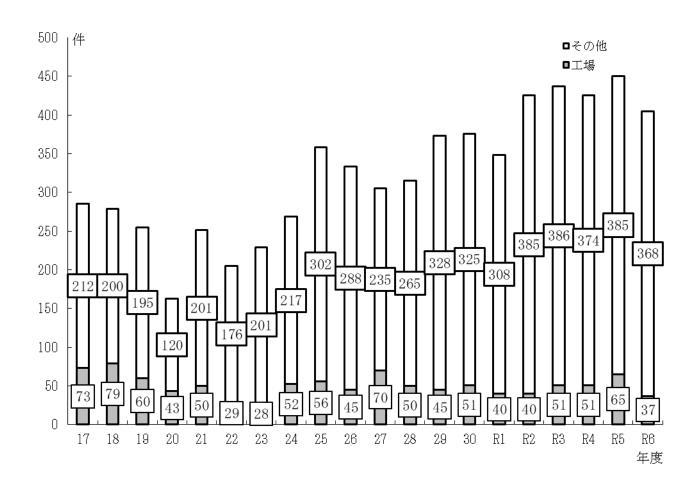
資料23 指定作業場

指定作業場数(令和7年3月31日現在)

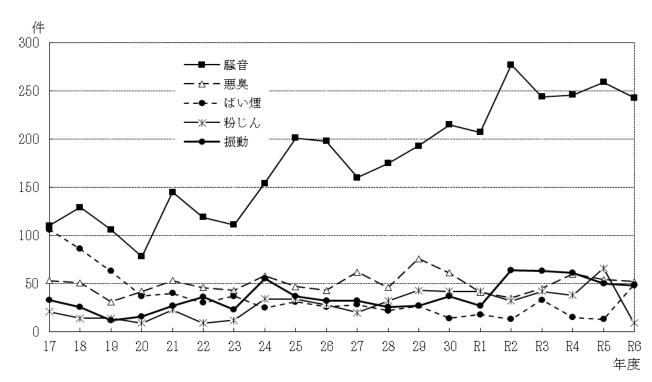
	指定作業場の種類 (環境確保条例 別表第二)	事業場数
1	レディミクストコンクリート製造場	0
2	自動車駐車場	499
3	専用自動車ターミナル	3
4	ガソリンスタンド、液化石油ガススタンド及び天然ガススタンド	65
5	自動車洗車場	19
6	ウエスト・ストラップ処理場	20
7	廃棄物の積替え場所又は保管場所	80
8	セメントサイロ	0
9	材料置場	40
10	死亡獣畜取扱場	0
11	と畜場	0
12	畜舎	0
13	青写真の作成の用に供する施設を有する作業場	0
14	工業用材料薬品の小分けの用に供する施設	2
15	臭化メチル等の有害ガスを使用する食物の燻蒸場	0
16	めん類製造場	17
17	豆腐又は煮豆製造場	82
18	砂利採取場	0
19	洗濯施設を有する事業場	143
20	廃油処理施設を有する事業場	0
21	汚泥処理施設を有する事業場	0
22	し尿処理施設を有する事業場	8
23	工場・作業場等から排出される汚水の処理施設を有する事業場	0
24	下水処理場	2
25	暖房用熱風炉を有する事業場	0
26	ボイラーを有する事業場	41
27	ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関、又はガソリン機関を有する事業場	7
28	焼却炉を有する事業場	8
29	冷暖房設備・水洗便所又は洗車設備用に供する揚水施設を有する事業場	3
	及び公衆浴場で揚水施設を有する事業場	3
30	水道施設、工業用水道施設、又は自家用工業用水道の施設のうち、	0
	浄水施設に供する沈殿施設又はろ過施設を有する事業場	0
31	病院 (病床数 300 以上を有するもの)	2
32	科学技術に関する研究、試験、検査を行う事業場	12
合計	+	1053

資料24 公害相談

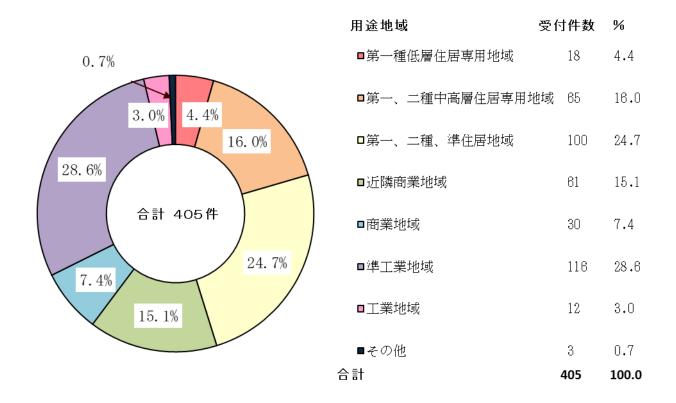
資 24-1 公害相談受付件数の推移(令和6年度)



資 24-2 主要公害現象別相談受付件数の推移(令和6年度)



資 24-3 発生源の用途地域別相談受付件数の割合(令和6年度)



資 24-4 公害現象別相談受付件数・処理件数(令和 6 年度)

現			象	受 付	処理			
ば	いり		煙	9	9			
粉	J	, ,	λ	49	50			
有	害	ガ	ス	0	0			
悪			臭	52	43			
汚			水	1	0			
騒			音	243	225			
振			動	48	49			
地	盤	沈	下	0	0			
土	壌	汚	染	0	0			
そ	の他		他	3	6			
件			数	405	382			

資 24-5 工場に係る業種別・現象別相談受付件数(令和6年度)

	公 害 現 象	ばい煙	粉じん	有害ガス	悪臭	汚水	騒音	振動	地盤沈下	土壌汚染	その他	合計
	1 食料品・たばこ製造業				7		2					9
	2繊維工業											0
	3衣料・その他の繊維製品製造											0
	業											0
	4木材・木製品製造業				1							1
	5家具・装備品製造業											0
	6パルプ・紙・紙加工品製造業				1							1
製	7 出版・印刷・同関連産業				1							1
	8化学工業				1							1
	9 石油製品・石炭製品製造業											0
	10 プラスチック製品製造業				1		1					2
造	11 ゴム製品製造業											0
	12 なめし皮・同製品・毛皮製											0
	造業											0
	13 窯業・土石製品製造業							1				1
業	14 鉄鋼業						2					2
714	15 非鉄金属製造業											0
	16 金属製品製造業				2		1					3
	17 一般機械器具製造業											0
	18 電気機械器具製造業											0
	19 輸送用機械器具製造業						2					2
	20 精密機械器具製造業											0
	21 その他の製造業											0
建設	材料、鉱物・金属材料等卸売業											0
その	他の卸売業・小売業											0
サ	洗濯・理容・浴場業											0
 <u> </u>	自動車整備業	1			1		1					3
ス 業	その他の生活関連サービス業											0
	その他				4		6	1				11
	合 計	1	0	0	19	0	15	2	0	0	0	37

資 24-6 指定作業場に係る業種別・現象別相談受付件数(令和6年度)

公害現象	ばい煙	粉じん	有害ガス	悪臭	汚水	騒音	振動	地盤沈下	土壤汚染	その他	公計
1 レディミクストコンクリート製造場											0
2 自動車駐車場				2		2					4
3 専用自動車ターミナル											0
4 ガソリンスタンド						1					1
5 自動車洗車場											0
6 ウェストスクラップ処理場						1					1
7 廃棄物保管積替場所				1		6					7
8 セメントサイロ											0
9 材料置場						2					2
10 へい獣処理場											0
11 と畜場											0
12 畜舎											0
13 青写真作業場											0
14 工業用材料薬品作業場											0
15 食物くん蒸場											0
16 めん類製造場											0
17 豆腐煮豆製造場											0
18 砂利採取場											0
19 洗濯事業場											0
20 廃油処理事業場											0
21 汚泥処理事業場											0
22 し尿処理事業場											0
23 汚水処理事業場											0
24 下水処理場											0
25 暖房用熱風炉											0
26 ボイラー						1					1
28 焼却炉事業所											0
29 地下水揚水事業所											0
31 病院						1					1
32 研究機関											0
合 計	0	0	0	3	0	14	0	0	0	0	17

資 24-7 建設作業、一般に係る業種別現象別相談受付件数(令和6年度)

	公	害 現 象	ばい煙	粉じん	有害ガス	悪臭	汚水	騒音	振動	地盤沈下	土壌汚染	その他	合計
建		特定建設作業		4				15	3				22
設		指定建設作業		28				54	38			2	112
作	7	その他の建設作業		14		1		42	2			1	60
業		合計	0	46	0	1	0	111	43	0	0	3	204
		木工作業場		1		1							2
		その他の作業場	4	1		9	1	36	3				54
	興行場·遊戲場							4					4
	飲食店・喫茶店		2			3		27					32
_		商店・百貨店						8					8
		学校・病院						2					2
		ビル・事務所						6					6
		商業宣伝放送											0
	交	自動車											0
般	交通機関	航空機											0
	関	その他の交通機関											0
		一般家庭				6		6					12
		その他	2	1		10		14					27
		合 計	8	3	0	29	1	103	3				147

資 24-8 深夜営業騒音に係る相談受付・処理件数(令和6年度)

発生源	カラオケ等音響機器	その他	合 計
受 付	16	10	26
処 理	21	6	27